

第37回カラーコーディネーター検定試験1級1分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
1分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	59.1	5.8	6.3	2.6	5.7	7.1	3.4	6.7	3.9	6.4	11.2

設問	設問	解答
1-1 (各1点)	ア	2
	イ	2
	ウ	2
	エ	4
	オ	3
1-2 (各1点)	ア	3
	イ	7
	ウ	5
	エ	4
	オ	2
2-1 (各1点)	ア	2
	イ	2
	ウ	4
	エ	1
	オ	3
2-2 (各1点)	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	1
	オ	1
3 (各1点)	ア	3
	イ	4
	ウ	3
	エ	3
	オ	4
4-1 (各1点)	ア	3
	イ	2
	ウ	3
	エ	1
	オ	4
4-2 (各1点)	ア	1
	イ	3
	ウ	3
	エ	2
	オ	3

設問	設問	解答
5-1 (各1点)	ア	4
	イ	4
	ウ	3
	エ	1
	オ	4
5-2 (各1点)	ア	3
	イ	4
	ウ	1
	エ	1
	オ	3
6 (各1点)	ア	3
	イ	2
	ウ	2
	エ	1
	オ	2
7-1 (各1点)	ア	3
	イ	1
	ウ	2
	エ	1
	オ	3
7-2 (各1点)	ア	3
	イ	3
	ウ	4
	エ	1
	オ	2
8 (各1点)	ア	3
	イ	1
	ウ	4
	エ	2
	オ	1

第37回カラーコーディネーター検定試験1級2分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
2分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	66.9	8.8	8.1	3.9	6.5	7.4	3.5	6.5	3.3	5.4	13.6

設問	設問	解答
1-1 (各1点)	※ア	5
	※イ	8
	※ウ	12
	※エ	14
	※オ	15
1-2 (各1点)	ア	4
	イ	7
	ウ	11
	エ	14
2-1 (各1点)	オ	3
	ア	3
	イ	4
	ウ	10
2-2 (各1点)	エ	9
	オ	11
	ア	8
	イ	2
3 (各1点)	ウ	15
	エ	9
	オ	14
	ア	13
4-1 (各1点)	イ	8
	ウ	14
	エ	9
	オ	7
4-2 (各1点)	ア	2
	イ	3
	ウ	1
	エ	1
4-2 (各1点)	オ	3
	ア	8
	イ	12
	ウ	2
4-2 (各1点)	エ	13
	オ	14

設問	設問	解答
5-1 (各1点)	ア	2
	イ	3
	ウ	4
	エ	2
	オ	5
5-2 (各1点)	ア	3
	イ	7
	ウ	10
	エ	14
6 (各1点)	オ	2
	ア	6
	イ	3
	ウ	8
7-1 (各1点)	エ	7
	オ	13
	ア	7
	イ	14
7-2 (各1点)	ウ	6
	エ	8
	オ	5
	ア	6
8 (各1点)	イ	7
	ウ	5
	エ	13
	オ	4
8 (各1点)	ア	3
	イ	1
	ウ	4
	エ	2
8 (各1点)	オ	1

※は順不同

第37回カラーコーディネーター検定試験1級3分野

級		合計	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
3分野	配点	100	10	10	5	10	10	5	10	5	10	25
	平均点	55.6	5.9	5.8	2.1	5.8	5.8	3.4	5.9	3.2	6.4	11.2

設問	設問	解答
1-1 (各1点)	ア	4
	イ	16
	ウ	14
	エ	19
	オ	8
1-2 (各1点)	ア	3
	イ	4
	ウ	6
	エ	5
2-1 (各1点)	※ア	2
	※イ	5
	※ウ	8
	※エ	11
	オ	3
2-2 (各1点)	ア	12
	イ	4
	ウ	2
	エ	14
3 (各1点)	オ	5
	ア	7
	イ	12
	ウ	3
4-1 (各1点)	エ	11
	オ	13
	ア	5
	イ	3
4-2 (各1点)	ウ	12
	エ	11
	オ	14
	ア	3
	イ	2
	ウ	3
	エ	3
	オ	2

設問	設問	解答
5-1 (各1点)	ア	17
	イ	4
	ウ	3
	エ	13
	オ	9
5-2 (各1点)	ア	2
	イ	1
	ウ	2
	エ	1
6 (各1点)	オ	3
	ア	3
	イ	1
	ウ	1
7-1 (各1点)	エ	4
	オ	2
	ア	7
	イ	10
7-2 (各1点)	ウ	8
	エ	14
	オ	4
	ア	9
8 (各1点)	イ	7
	ウ	10
	エ	14
	オ	4
	ア	3
	イ	1
	ウ	4
	エ	2
	オ	1

※は順不同

第37回カラーコーディネーター検定試験 1級

【第9問】 1級（第1分野～第3分野）共通論述問題 採点基準

【問題】

色の三属性を説明し、さらにトーン（色調）との関係について説明しなさい。

【模範解答例】

色の三属性とは、マンセル表色系を構成する色相、明度、彩度のことである。色相はR, Y, G, B, Pの5種類を基本色相とする色みの違いを表すものである。明度は知覚的に等間隔に表面色の明るさを表すものである。彩度は無彩色からの隔たりの程度で、鮮やかさを表すものである。表示は色相 明度/彩度で行う。トーンは等色相断面での明度と彩度を、さえた、濃い等の形容詞で表現したもので、色を色相とトーンの2属性で表現できる。

【採点基準】

以下の項目が記述してあれば1点加点で、10点以上は10点とする。

- ① カラーオーダー（－）システム
- ② マンセル表色系
- ③ 色相（H）
- ④ R、Y、G、B、Pの5つの基本色相
- ⑤ 色みの違いを表す
- ⑥ 中間色相
- ⑦ 色相環
- ⑧ 明度（V）
- ⑨ 白と黒の間を知覚的に等間隔で分割
- ⑩ 表面色の明るさを表す
- ⑪ 彩度（C）
- ⑫ 無彩色からの隔たり程度
- ⑬ 鮮やかさを表す
- ⑭ 表面色の色の見え
- ⑮ 色相 明度 彩度の順に連記または H V/C でも可
- ⑯ 円筒座標
- ⑰ 色立体
- ⑱ 等色相断面
- ⑲ 明度と彩度の二属性を表す
- ⑳ さえた、濃い、等の形容詞で表現
- ㉑ 色相とトーンで色を表示できる
- ㉒ デザインの現場で使用される

第37回カラーコーディネーター検定試験 1級

【第10問】1級（第1分野）論述問題 採点基準

【模範解答例】

5年間の提案色の推移をみると①無彩色系は明らかに増加しており、特に2014SSのGyは際立って多い。しかし2015SSではGyからWに移行し、2015SSではWで最も多い提案色となっている。これは出現色の順位にも顕著に表れていて2014SSには最下位のWが2015SSにはトップになっている。一方Gyは半減しているが出現色で2位を保っており、依然出現率は高い。②2012SSで比率の高かったBRやY系は提案色として漸減しているが、前年では圏外だったBR3のベージュやBR5のこげ茶は出現色では大きく進展した。③PK、R、Oの暖色系の色は一定の比率で提案されているが、2014SS～2015SSの出現色ではOが消え、代わってRが登場した。④提案色で倍増したYGが安定して出現し、またGN2、BG1などのG系の色が拡大している。⑤提案色の経年変化からは読み取りにくいだが、出現色ではNE4、BL5、RE5などのダークカラーの後退傾向がみられる。⑥その反対に2015SSの出現色では無彩色を含め明度の高いNE2（白）、NE3（グレー）、PK2（ピンク）、YE2（クリーム）、YE3（ベージュ）などの色が上位を占め、明るい色調への関心が高まっていることが特徴である。

【解答のポイント】

①レディストrendカラーの経年変化。2011年春夏～2015年春夏の提案色

1. 無彩色では

- ・全体の量では2014SSと2015SSでは変わらないが、2014SSではグレー系が目立って多かったが、2015SSでは白に移行。白は5年間の中で最も提案が多くなっている。

2. 有彩色では

- ・2014SS、2015SSと比較すると、赤、オレンジ、イエローが後退
- ・イエローは2012SSをピークに徐々に減少
- ・BRは2012SSをピークに減少傾向が見られたが、2015SSでは再び拡大
- ・イエローグリーンは前年大きく減少していたが、2015SSでは一転し倍近くに増加
- ・bGは2014SSに前年より半減したが、2015SSで再び増加
- ・5年間で見ると、前半は全体的に暖色系が寒色系より多かったが徐々に寒色系が増え、暖色系は2015SSでは最も少ない

②レディス2014年春夏～2015年春夏上位色の推移

- ・最も顕著な変化として、前年下位にいた白が 2015SS ではトップに躍進、伸びもトップ
- ・無彩色のグレーは前年トップだったが量的には半減はしたものの2位
- ・ダークグレー、ワイン、ネイビーなどのダークトーンは後退傾向
- ・色相別にみると
BR 3のブラウン系のベージュが+2.4、BR 5のこげ茶が+1.7で大きく進展
2色とも 2014SS では圏外で 2015SS で登場
- ・GN 2のライトグリーンは+0.9、GN 4のパイングリーンは+1.1、BG 1のピーコックグリーンは+0.5などグリーン系が拡大している
- ・前年2位のビビッドオレンジが上位色から消えた
- ・オレンジに代わって前年には無かったビビッドな赤が登場

【総合的な特徴】

1. 無彩色系の提案は 2014SS から増加しているが、2014SS のグレーに代わり、2015SS では白の増加が顕著であることは、トレンドのベストカラーの順位にもはっきり表れている。
2. 経年変化ではオレンジ系が減少、2015SS のトレンドのベストカラーでも後退
- 3.トレンドのベストカラーから見ると、2014SS より 2015SS では無彩色も含め明度の高い色が上位に登場

【採点のポイント】

上記の【総合的な特徴】を正しく理解し、きちんと記述しているかを重点的に評価した。その上に①②の各色の特色の記述がなされていれば加点し、その他、文章の纏め方なども併せて総合的に評価した。

第37回カラーコーディネーター検定試験 1級

【第10問】 1級（第2分野）論述問題 採点基準

【問題】

“色”“素材感”を商品アピールの手段として活用している例は多い。具体的な商品事例を挙げながら、素材感とカラーをアピールする新しい色彩計画を考え、その意図を説明しなさい。使用素材、製造方法、商品ラインナップ、店頭展示方法、プロモーション方法等で論じることが望ましい。

【解説と評価ポイント】

近年、高品質な商品の提案として、新しい素材感を利用して消費者の期待に応えようとする商品が見られるようになった。

冷蔵庫の扉や、体重計の表面全体をガラスで覆って新しい素材感を提案したり、ハンドルの部分やペンの軸に実際の本を使って肌触りの良さを訴えたりしている例もある。

この論述の課題は、これまでの商品に利用される常識的な（量産に最も適した）外装素材にとらわれずに、新しい素材を利用する商品企画のアイデアを問うものである。

商品色彩計画の中で**第4章 色彩の材料**を中心とした知識を活用できる問題である。

評価のポイント

1. **具体的事例**：課題の一つ、具体的な商品事例を挙げながら論じていることが必要。
2. **新しい素材（素材感）**：
 - *現在の商品の一般的な外装素材とその処理（仕上げ）と対比して商品にふさわしい新しい素材（素材感）が盛り込まれているか？
 - *製造上の課題などに触れていればさらによい。
 - ※課題に“色、素材感”・・・とあるため、カラーの新規性を提案している場合は、それが素材感（感覚的に）に繋がっていればよい。
3. **新提案の意図**：
 - *消費者の生活観や価値観に訴えようとしているかが表現できているか？
4. **商品色彩計画**：
 - *上記3の新提案の意図を市場に提供する段階で配慮すべき事柄を適切に考えられているか？

その他、評価されるポイント：

- ・商品ラインナップ上の位置づけ
- ・特徴を生かした店頭展示方法
- ・他の商品と違う特徴を生かしたプロモーション方法

第37回カラーコーディネーター検定試験 1級

【第10問】 1級（第3分野） 論述問題 採点基準

【問題】

自然が残る都市の河川環境に、幅員16m、橋長300mの連続トラス道路橋の架橋計画がある。この計画に対して必須と考えられるキーポイントを文頭に3つあげ、それを踏まえて、この橋梁のカラーコーディネーションに対するあなたの考えを述べなさい。

*道路橋：道路としてヒトや車などが通行できる橋

ポイント1：環境／2：橋梁／3：道路橋＝車両、自転車、歩行者／4：総合
場 物 人 色彩

場：自然が残る都市の河川環境、
自然の中での人工物のあり方、季節変化、背景色、
シンボル性、ランドマーク性

モノ：中規模-連続トラス橋（橋梁美）、
橋梁イメージやサイコベクトル、連続性やリズム感、素材
都市基盤インフラ、時間軸やメンテナンス

ヒト：内観と外観
公共性、交通量や視点場想定
あり方、見え方、見せ方

色彩：固有性・場所性・意味性
景観美、都市美、
用・強・美、
永続性、公共性、環境性
ヒト・モノ・場
環境色彩にいかに着地させるか

【模範解答例】

1. 場所性 2. 橋梁美 3. 公共性

計画は自然や都市生活を背景とした架橋であり、まず対象場の条件を把握することを起点としたい。特に環境特性における将来的土地利用や周辺の季節や天候変化などは、景観主調色の把握に時間軸を投影する意味でも重要な観点となる。橋梁は対岸にある場を繋ぐためにあり、両岸に展開される社会・生活シーンを認識し、また交通状況等に配慮しながら機能性やシンボル性、ランドマーク性など、全体ロケーションの中でのあり方を確認する必要がある。次にコーディネーションの主体となる橋梁の形態特性や構造特性、さらには規模や素材感など、用・強・美の視点から橋梁美の色彩による見せ方にこだわる必要がある。今回は中規模の連続トラス橋であり、橋梁イメージやサイコベクトルを確認しつつ、永続性ある環境色彩の維持に向けてメンテナンス性の条件も考慮したい。道路橋としての公共的使用は、外観のみならず内観に対する配慮も求められる。その色彩は、ドライバー、自転車や歩行者の安全性を確保し、心地良いシーケンスに配慮したデザインであることが求められる。橋はさまざまなシーンを包含する舞台であり、人-モノ-場の発想で計画したい。(500)